学校番号	１００７

令和３年度　看護科

教科	看護	科目	基礎看護	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	看護講座Ⅱ						
使用教科書	基礎看護（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年基礎看護で学んだことを基にして、より看護の専門領域に近い範囲の実習を中心とした授業を行います。看護講座Ⅰ同様、看護師役・患者役に分かれて体験し、体験してみないとわからない感覚を考察し、今後の看護活動に活かしていきます。実習には積極的に参加し、多くの気づきを得られるようにしましょう。

2　学習の到達目標

看護職を目指すにあたり、コミュニケーションの基礎となる力を身につけ、相手のことを考えた看護活動を行えるようになることを目標とする。

ひとつひとつの看護技術について、興味・関心を深め、自ら学ぶ意欲を高めていく。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	看護の意義と保健･医療･福祉における看護の役割について関心をもち、看護の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	看護の意義と保健･医療･福祉における看護の役割について思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を活用して看護活動を適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。	日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的・基本的な技術を身につて、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、その成果を的確に表現する	基礎看護に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、看護の意義と保健・医療・福祉における看護の意義や役割を理解している
評価方法	定期テスト 学習状況の観察等	定期テスト レポート、発表 自己評価･相互評価等	定期テスト レポート、発表 自己評価・相互評価等	定期テスト 学習状況の観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

ターム	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	救急処置、罨法・保温	・看護の歴史 ・包帯法の目的、留意点、包帯の巻き方の種類など ・温度刺激の人体への影響、罨法の目的、種類など 実習：包帯法、罨法	○	○	○	○	a:看護観・包帯法・罨法について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:看護の歴史や包帯法・罨法のより良い実施方法について考えを深めることができる c: 包帯法・罨法を安全に行う技術を身に付けている d:看護の歴史、包帯法、罨法の手順について、正しい知識を身に付けている	・考査 ・平常点（授業態度、出席） ・実習点（意欲、記録）
2ターム	救急処置、検査・診断と看護	・応急処置の基礎、方法、留意点 ・心配蘇生法 実習：心配蘇生法 ・身体計測の目的と方法 ・検査について知る 実習：身体計測	○	○	○	○	a:救急処置、身体計測について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:救急処置、正しい身体計測の方法について考えを深めることができる c:身体計測を正確に行う技術を身に付けている d:応急処置の基礎・身体計測の方法について、正しい知識を身に付けている	・考査 ・平常点（授業態度、出席） ・実習点（意欲、記録）
3ターム	活動・運動、無菌法と院内感染の援助	・車椅子の操作,移動 実習：車椅子体験 ・無菌法の目的,方法 ・病院内で起こりうる事故とその予防対策、褥瘡の予防 実習：ガウンテクニック	○	○	○	○	a:車椅子の介助方法、無菌法の手順について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:安全な車いすでの移動、無菌法の必要性について考えを深めることができる c:車いす介助、院内で起こりうる事故について考えを深め、予防策を考えることができる。 d:車いす介助の方法、無菌法について、正しい知識を身に付けている	・考査 ・平常点（授業態度、出席） ・実習点（意欲、記録）
4ターム	与薬、患者との人間関係	・薬の種類と人体への影響についての基礎 ・与薬の方法、留意点 ・看護における患者との関係	○	○	○	○	A 薬について関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている b:与薬の重要性について考えを深めることができる。患者に求められる看護師とは何かを考えることができている。 c:確実に与薬する技術を身に付けている。適切なコミュニケーションについての技能を身につけている。 d:薬理学について、正しい知識を身に付けている	・考査 ・平常点（授業態度、出席） ・実習点（意欲、記録）

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。